

コロナウィルス感染予防についての工夫

診療時の感染予防（土岐 志麻・青森市）

・当院はものすごい田舎で、ほぼ全員（スタッフも）車で来院されますので、待合室ではなく、車でお待ちいただき、順番がきたら携帯電話へお知らせします。

・患児だけでなく院内に入るすべての方へ検温を行っています。マスクの着用は診療直前までお願いし、マスクのない方には、私が手作りした布マスクを100円で販売していますので、こちらの使用をお願いしています。ちなみに、この100円は、こども食堂に寄附すると明記しています。スタッフは常時受け付けも含めマスク着用。

・受付は、ビニールをかけています。おもちゃ、雑誌は撤去。ターンテーブルには基本的には何も置いていません。

患者さんが終わるごとに、ユニット全体・ユニット周りを次亜塩素酸水でふきとります。

・加湿器に電解機能水(メーカーに加湿器に入れてよいか、希釈率を確認の上)を入れ、診療室のいたるところに置いてあります。(子どもの手の届かないようにして)

・もし、コロナになってしまった場合のために、担当した衛生士は途中で変わった場合も、名前をカルテに記載します。

・ディスポのエプロンが手に入らなくなったので、テーブルクロス(防水の)を胸の大きさにカットし、その上にキッチンペーパーを置き、両方をクリップ(エプロンにするように販売しているもの)を止め使用しています。キッチンペーパーのみ廃棄し、テーブルクロスの部分は、裏も表も次亜塩素酸水で消毒しています。

・また玄関には、当院ではPCR検査は行っていません!と大きく書いています。

診療後は、自宅待機している子どもたちにむし歯と肥満が増えているというお話を聞いたので、自作したプリントをわたし、太ったらどんな不都合があるのかをわかってもらうようにしてみました。また空き時間に歯みがき検定を行っていただくようにしています。

理事者の工夫（全国様々な地域で開業している理事の工夫）

（予約・待合室について）

- ① 予約時間の調整および患者さんへの周知徹底
- ② 公共交通機関利用の患者さんの来院回数を減らす
- ③ 患児以外の来院人数を減らす
- ④ 入口、待合室などに注意喚起の掲示
- ⑤ 映像によるコロナ対策についての放映
- ⑥ アルコール手指消毒剤の設置
- ⑦ 自家用車での待機、携帯電話での呼出
- ⑧ 付添を含めた全員の検温、体調などの問診
- ⑨ 待合室の椅子の配置
- ⑩ 待合室のソファ、椅子、スリッパの消毒
- ⑪ 受付に飛沫防止対策（透明シート、アクリル板）設置
- ⑫ 漫画・雑誌、キッズルームのおもちゃ・絵本などの撤去
- ⑬ トイレのウォシュレット停止、
- ⑭ 待合室、使用済みスリッパ、トイレの床・壁のアルコール清掃
- ⑮ 常時窓を開けて換気

（診療室内について）

- ① 診療前の洗口（イソジン、オキシドール、リステリン（6歳未満はノンアルコールリステリン）など）
- ② 診療チェアの徹底的な清掃（超酸水、アルコールなど）
- ③ PC、タブレットについて（紫外線照射、アルコール消毒、保護シートによる防護）
- ④ ゴーグル、マスク、サージカルガウン、サージカルキャップ、フェイスシールド等のスタッフ含む装着
- ⑤ ラミネートによるフェイスシールド手作り
- ⑥ 希望者へのフッ素塗布（保険適応の場合は保険、保険外は無料）
- ⑦ Cisco（Webミーティングツール）にて希望者へのMFT指導を予定
- ⑧ 常時窓を開けて換気
- ⑨ 診療室の床、スタッフや患者さんが触れそうな部分を全てアルコール消毒

（その他）

- ① 小児の布マスクへの紫外線照射サービス

(肥満防止・う蝕予防)

- ① 市歯科医師会地域保健委員会への「子どもの肥満・う蝕防止へのアドバイス対応」の要請
- ② 学校、保育園などへの「保健室たより」「園たより」への投稿
- ③ 時間割と時計を見て、学校へ行っていたら、食べたり飲んだりしている時間か考えさせる
- ④ 約2週間の休校でう蝕の増加、歯みがき習慣が無くなることがあった。現時点で小中学校は休校でないが、今後長期休校になれば歯科医師会などを通じ申し入れしたい